



# 東国分中だより

令和6年10月1日  
NO.8

学校 HP

学校教育目標 「夢や希望を抱き、生きる力を持った生徒の育成」  
～知・徳・体の調和のとれた生徒～  
<https://ichikawa-school.ed.jp/ekokubun-chu/>

東国分爽風学園  
市川市立東国分中学校  
校長 植木 昭貴



## 10月…、「前期終了」と「秋風祭」と。



厳しい残暑に見舞われた9月でしたが、ここ最近になってようやく秋の気配を感じることができるようになりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、健康管理には引き続き気を配りましょう。

**10月17日(木)は前期終了日**です。担任の先生から通知表を受け取り、4月からの学習成果を確認してください。ただ単に5段階評定の数値のみに目を向けるのではなく、各教科の3つの「観点」にも注目し、各教科における自分自身の「強み(頑張った点)」と「弱点(これからの課題)」を把握することで後期の学習活動につなげていくことが最も大切です。

**10月18日(金)は秋風祭(合唱コンクール)**が開催されます。9月17日(火)から、学級ごとの合唱練習が本格的にスタートしました。校舎内には、連日優しいハーモニーが響き渡り、どの学級も本番に向けて、心を一つに一生懸命頑張っている様子がうかがえます。3年生にとっては高校受験前に学級の仲間たちと臨む最後の学校行事です。仲間や先生たちと楽しく、思い出に残る時間を創り上げてほしいと願っています。



9/13(金)、3年生は「全身全霊」という学年スローガンのもと、合唱練習をスタートさせました。

## | 学年「いのちの学習～思春期の心と体～」

9月9日(月)5時間目、学校保健講演会として、1学年「いのちの学習～思春期の心と体～」を行いました。これは、助産師・小路和子先生をお招きし、毎年、1年生を対象に実施している性教育に関する講演会です。小路先生は、講演会冒頭で『性』は『心が生きる』・『心の生き方』という意味。だからこそ、性を学ぶことは、生きることを学ぶこと』というお話をしてくださいました。また、講演会の中で…

- 今、あなたがここにいる確率は「宝くじの1等賞に100万回連続で当たるよりも難しい確率」。
- 成長のスピード(体の発達)は、人それぞれ違う。だからこそ「人と比べない」。
- 自分自身の体を知ることが大切。そして、性に関する悩みは、必ず信頼できる大人に話すこと。

という内容のお話をありました。「あなた自身」を今もこれからも大切にしていきましょう。



# 『人とのかかわりについて考えよう』

～1学年「学校支援実践講座」から～

9月17日(火)、1学年で「学校支援実践講座」が行われました。



## 【学校支援実践講座とは?】

- ◎市川市教育委員会が実施を希望した市内小中学校を対象に行っている「いじめ未然防止」を目的とした事業です。
- ◎各学級の各班に1名の「地域支援者」(学級で合計6名)が入り、市川市教育委員会が作成した「架空事例(人間関係のよくあるトラブル)」をもとに、地域支援者と生徒たちが自由に意見交換をしながら「人とのかかわり」について考えていくことで、いじめの未然防止につなげていく授業(交流会)です。



地域支援者の方々は授業(交流会)の中で、初対面ながらも生徒たち一人一人の意見や考えを上手に引き出し、そして傾聴してくれたことで、生徒たちは良い意味で遠慮することなく、様々な視点(角度)から架空事例のトラブルを考え、「人間関係をより良くしていくにはどうしたら良いか?」ということについて積極的に意見交換をしていました。今回の交流会で学んだことを、これからの中学校生活にも生かしてください。なお本校では、12月に2学年を対象として「学校支援実践講座」を行います。

以下、地域支援者の方々からの「交流会の感想」をご紹介いたします。

## 【地域支援者の方々からの感想 ※一部抜粋】

- 中学生ともなると、自分の意志や意見をしっかりと持って感心しました。多角的に物事を見ることができる素晴らしい子たちでした。
- 思いを素直に話してくれていました。みんな、自分の思いがあって、それを聞いて本当に嬉しかったです。
- とても優しい生徒たちで、休み時間も話しかけてくれて男子も女子も雰囲気が良かったです。
- お互いの意見をきちんと聞きつつ、自分の考えを言って、活発な話し合いができたと思います。

# 全校集会【9月20日】～図書委員会&英語スピーチ～



## 「りんごの棚」

図書委員会が障害の有無に関係なく誰でも読書を楽しめる工夫を紹介してくれました。



9/12(木)に開催された市内英語発表会でのスピーチを全校生徒にも披露してくれました!